

## 先進地に学ぶ 行政視察報告から

### 総務財政常任委員会

平成20年7月9日(水)～10日(木)

#### ◎宮城県南三陸町「行政組織の再編」

平成17年10月の合併により本庁(旧志津川町役場)、総合支所(旧歌津町役場)の体制による行政運営がスタート。類似の事務事業をそれぞれで行っている非効率性や指揮命令系統が不明確であるといった課題を抱えていた。今後、職員数が減少していくことを踏まえ、簡素で効率的な行政組織への再編に着手した。再編にあたっては、総合支所の役割、機能の明確化など5つの考え方で進めている。

#### ◎岩手県北上市「市民提案型協働事業挑戦制度(コラボ☆チャレンジ)」

協働をキーワードとしたまちづくりの推進を図るため、下記により平成19年度から実施している。

- ①対象団体：要項で指定する基準を満たす市民活動団体または地域コミュニティ団体等
- ②募集の内容：
  - (1)市民活動・コミュニティ活動の活性化事業
  - (2)2つ以上の活動主体が役割分担して取り組む事業
  - (3)市の総合計画に合致した事業
- ③1団体20万円を上限に補助(平成19年度は15万円)

### 建設産業常任委員会

平成20年6月25日(水)～27日(金)

#### ◎北海道余市郡余市町「道の駅スペースアップルよいちを中心とした観光施策」

中核施設は余市宇宙記念館で、子どもから大人まで楽しめる体験型施設(有料)の位置づけがなされ、観光客はじめ小中高生の課外教育施設として多くの方々が訪れている。利用者の求める多様な地域情報を提供することにより文化財を訪れ、飲食店などを利用する観光客も増え、通過型観光から滞留型観光への変化が現れた。

#### ◎北海道岩見沢市「新産業支援センター」

高度情報通信社会への積極的対応を図り、情報通信技術の活用による「住民生活の質的向上」などをめざす地域情報化の拠点施設として自治体ネットワークセンターをオープンし、各種公共アプリケーションシステムの開発運用をはじめ衛星通信や高速広帯域通信網等の高度情報通信機能を用いた様々な先進的取り組みを展開している。

### 教育民生常任委員会

平成20年7月16日(水)～7月18日(金)

#### ◎長野県小諸市「学校給食による地産地消の取り組み事業」

学校給食への地場産野菜の導入に取り組み、20年目を迎えている。当初は、14品目であった地場産品は、現在では43品目にもなり、年間給食205日のうち160日程度、約80%に地場産野菜が使用できるようになった。主食には、小諸産の「こしひかり」100%を使用し、米飯は小学校が週4日、中学校が週3日実施している。教育委員会が生産者と各学校給食(自校方式)の仲介調整役となって、安定供給に留意している。

#### ◎山梨県韮崎市「高齢者の健康づくり生きがいづくり事業」

要介護者を出さないための健康づくりが大切になっており、これまでも色々な事業を展開してきたが、参加者が少なく思うような効果は得られなかった。そこで、高齢者のニーズをしっかりとつかみ、楽しみながら学べる事業を展開し、介護難民を出さないことを目的とした。お金の「貯金」は使えばなくなるが、筋肉の「貯筋」は使わなければ貯まらない。楽しく運動してコツコツ「貯筋」し、いきいきとした生活を続けてもらうため、介護予防を行っている。